



東温市指定天然記念物 日浦ムクノキ（双樹） 東温市河之内日浦集落

高さ19メートル目通り5.34メートル。小さい方は高さ17メートル目通り3.36メートル。根張が土地を盛り上げて塚の上にあるように見える。由来・伝承については資料がない。
市内には3～7メートルぐらいの目通りを持つムクノキが随分と多いが、民家近くでこのような形に残っているところは少ない。

着任のごあいさつ

～愛媛医療センターの輝く未来を夢見て～

日頃より当院の運営に格別のご高配を賜り誠にありがとうございます。

私は、平成21年7月から平成25年3月まで当院で勤務後異動となり、2年ぶりの平成27年4月に愛媛医療センターの事務部長を拝命いたしました浅松と申します。今後ともよろしく願いいたします。

前回の当院勤務の時には、新病棟完成目前で残念ながら異動となりましたが、当院の長年の夢であった新病棟建設に携わらせて頂きました。

また、この2年の間にサービス棟も新しくなり、愛媛医療センターは着実に生まれ変わってきており、当院の目指す箱物の最終形に対して、外来部門、管理部門の建替を残すのみとなったところです。

話は変わりますが、2年ぶりに当院に赴任し、松山市内からタクシーに乗った時のことです。運転手の方に、「愛媛医療センター」までお願いしますと言うと、「愛媛医療センター??」という運転手の反応であったため、「国立療養所愛媛病院と

言ってた時代もありました」と伝えると、「ああ療養所ね」とわかって頂きましたが、知名度はそれなりにあるものの変更後の病院名称は、なかなか浸透しないものなんだなあと思感させられた瞬間です。

今後は、より地域に貢献できる病院、「愛媛医療センター」としての知名度UP、外来部門、管理部門の建替等を目標に、平成28年度からは松山圏域の病院群輪番制の救急当番に参加すべく病院をあげて準備を進めておりますし、引き続き、職員一同病病連携、病診連携に努めてまいりますので、これからも変わらぬご支援、ご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

事務部長 浅松 誠治



にゅう ふえいす どくた〜



神経内科医長

小原 克彦

平成27年6月1日より赴任いたしました、小原克彦（こはらかつひこ）です。よろしくお願い申し上げます。

昭和57年大阪大学の出身で、平成4年より愛媛大学にお世話になっておりました。愛媛大学2内科に勤務し、その後、老年医学（現、老年・神経・総合診療内科）に在籍しておりました。専門は、老年医学、神経内科で、これらの領域の専門医とともに、高血圧と認知症疾患専門医を取得しております。

愛媛医療センターでは、神経内科の診療を担当させていただきますが、認知症など高齢の患者さんでは、多くの疾患が併存し、複雑な病態の方が多くおられます。また、フレイルと呼ばれる虚弱を呈する患者さんが多くなります。他専門領域の先生方との連携はもちろんですが、この領域は、医療面のみのアプローチでは限界があります。介護保険などの社会資源の利用を含め、地域医療連携室にも協力をお願いする機会が増えると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

研究領域では、動脈硬化、サルコペニア（筋肉減少症）、認知機能障害など老化に関連した領域に興味を持っています。医療センターでは、臨床研究も続けて行いたいと思っています。この方面でも、よろしくお願い申し上げます。



呼吸器内科医長

伊東 亮治

このたび呼吸器内科医として当センターに着任しました伊東亮治です。東京の高校を卒業後愛媛大学に入学しました。大学時代はバスケットボール部に所属し体を動かしておりました。平成6年に大学卒業後は愛媛大学附属病院で内科学を、平成8年からは国立がんセンター中央病院（現、国立がん研究センター中央病院）で肺癌診療の研修を3年間受けました。研修後は当院（国立療養所愛媛病院時代）で平成11年から2年間呼吸器内科医として勤務しておりました。その後平成27年3月まで愛媛大学附属病院で診療・研究・教育に携わってまいりました。趣味は野球観戦で「生まれながらの阪神タイガースファン」です（ここ数年はほとんど球場に行けておりませんが…）。

高齢化や生活習慣・生活環境の変化に伴い呼吸器疾患にかかる方が年々増加しております。特に肺癌や慢性閉塞性肺疾患（COPD）はなかなか気が付きにくく多くの方が受診された時は進行していることが多いです。また、長引く咳の原因として「咳喘息」が注目されております。当院ではこれらの疾患を診断するための胸部CT、呼吸機能検査、呼気一酸化窒素測定などを行っております。「咳」「痰」「息切れ」などの症状がありましたら一度呼吸器科の診察を受けてください。また健康診断などで胸のレントゲンの異常を指摘された場合には肺癌や肺結核、間質性肺炎などの鑑別が必要です。胸部CTなどの精密検査を是非受けてください。



消化器内科医師

大藏 いずみ

平成27年4月に愛媛医療センターに赴任しました消化器内科の大藏いずみです。昭和61年愛媛大学卒で、大学卒業後1年間愛媛大学第3内科で研修した後、久万町立病院で一般内科医として5年間を過ごし、その後一旦大学に帰りC型肝炎の研究に携わりました。結婚を契機にテキサス大学ヒューストン校へ留学しました。留学期間中に出産を経験し、帰国後は、第一線での臨床は難しく、同仁会吉田病院（現、おおぞら病院）では当直や病棟患者様の診療は免除していただき、検査と外来診察のみの勤務を19年間させていただきました。

趣味は寝ることと、娘とともに、アイドルグループである嵐の追っかけをしています（ただし追っかけをしたくても、コンサートチケットが取れないのが現状ですが、去年のARASHI BLAST IN HAWAIIには行ってきました）。

今回子供も成人し、手を離れたこともあり、元々目指していた消化器内科医師として頑張りたいと愛媛医療センターの勤務を希望しました。内科医としてはベテランと思われるかもしれませんが、消化器内科医師としては、これまで胃内視鏡、腹部超音波検査を行ってきましたが、大腸ファイバーやERCPなどはほぼ新人のため、これから研修医同期の久保統括診療部長はじめ消化器内科の先生方の指導の下、精進したいと思っています。また、これまで、一緒に仕事をしたことがなかった呼吸器・循環器・神経内科の内科系の先生方や、他の科の先生方の指導をいただき勉強したいと思っておりますので、何卒よろしくお願いたします。



呼吸器内科専修医

中村 行宏

平成27年4月から愛媛医療センターに着任しました、中村行宏と申します。出身は松山市の久谷の方で、母校である香川大学医学部を卒業し、医師になってからは初期研修を愛媛大学附属病院で2年間過ごし今年が3年目です。

初期研修では様々な科、病院に行かせて貰いましたが、呼吸器内科と消化器内科とで迷いに迷い、最終的に呼吸器をやってみたいという事で落ち着きました。尊敬する伊東先生に付いて、岩田院長、阿部副院長に無理を言って愛媛医療センターに来させていただきました次第です。ここ愛媛医療センターでは、結核やMAC症、胸水等々、自分がこれまでに触れる回数の少なかった疾患が多数あり日々新鮮な気持ちで診療に当たらせていただいています。

当面の目標は一人の患者さんを自信をもって一人で診れるようになったらと思っております。

ひと月働いてみて先生方、看護師さん、事務の方々、みなさんが優しく親切であり非常に働きやすい環境と感じております。まだまだ、分からない事だらけのペーペーですが、一人前になれるよう一生懸命がんばりたいと思っておりますので、宜しくお願申し上げます。



呼吸器内科専修医

大久保 史 恵

この春、愛媛医療センターに呼吸器内科専修医として入職しました大久保史恵と申します。県立中央病院で2年間の臨床研修を終了後、次の勤務先として優しいと評判の愛媛医療センターを選ばせていただきました。内科医としても呼吸器内科医としてもまだまだ未熟な面もありますが、明るく優しいスタッフたちに助けられ、患者さんたちの笑顔に励まされ、日々を送っております。

慢性疾患というのは、薬以上にその人その人の頑張りが必要なのだとこのことを、私は感じております。もちろん薬はどんどん良くなっていますし、絶対に必要なときもあります。たとえばCOPDに対しては、薬も大切ですが、それ以上に禁煙、リハビリといった努力が大切になってきます。薬でなんとかなれば…という気持ちは私にもあります。しかし薬だけに頼っても限界があり、結局は薬ばかり10種類、20種類という状態になり、それが体の負担になってしまうことも多々あります。症状で苦しんでいるのは患者さん。リハビリや禁煙など頑張っているのも患者さん。だからこそ、適切なタイミングで適切なアドバイスや医学的介入ができるように、私も努力を続けていきたいと思っております。また、呼吸器の臓器だけでなく、全身を、全人的にみることができるような医師を目指しますので、一緒に頑張りましょう。よろしくお願いいたします。

引っ越してきました

We are new neighbour

4月1日付で当院に赴任した職員です。よろしくおねがいします

氏名	職名	部署	前任地	氏名	職名	部署	前任地
浅松 誠治	事務部長	事務部	岡山医療センター	井川 昭二	副診療放射線技師長	放射線科	鳥取医療センター
森脇 祐治	企画課長	企画課	関門医療センター	田中 哉枝	栄養管理室長	栄養管理室	大島青松園
中宇 祐 剛	経理係長	企画課	中国四国グループ	大西 玉美	副看護部長	看護部	福山医療センター
伊藤 直樹	庶務班長	管理課	四国厚生支局	高市 美幸	看護師長	1階病棟	東徳島医療センター
樫野 勝幸	薬剤部長	薬剤部	鳥取医療センター	石橋 麗奈	看護師	2階病棟	東京医療センター
高野 豪	調剤主任	薬剤部	高知病院	渡邊 玲子	教育主事	看護学校	京都医療センター



新鮮組'15

4月1日付で採用になった職員に、目標や意気込みをひと
言ずつ語ってもらいました。

50音順

22病棟 療養介助専門員 石村幸洋

知識や技術を教わり、早く仕事を覚え、皆様の役に立ちたいです。



企画課 財務管理係 金久雅美

早く仕事に慣れるように頑張ります。



栄養管理室 栄養士 須藤真帆

間違いのないように、正確かつ丁寧に業務をこなしていきたいです。



23病棟 療養介助専門員 中川明日香

一生懸命頑張ります。よろしくおねがいします。



21病棟 看護師 柳原可奈

早く職場の環境に慣れ、どんな時でも笑顔をお忘れず頑張ります。



診療放射線科 診療放射線技師 吉村勇輝

先輩から技術を学び仕事を一つずつ覚えていきたいと思います。



理学療法室 作業療法士 渡部聖子

花と山に囲まれる中、澄み渡る青空のように明るくおおらかでいたいです。



栄養管理室 栄養士 渡部紀子

患者様に安全な食事を提供できるよう精一杯頑張ります。



地域の輪



山本内科胃腸科

繋がる地域医療連携

当院は昭和62年に川内町に開業しました。開業当初は、まだ周りに個人病院は少なかったのですが、現在では多くの先生方が開業され、気が付けば東温市の中では比較的古いクリニックになりました。

無床で規模の小さな病院ですので、特殊な検査や入院が必要な場合は、紹介等で医療センターのスタッフの方々には度々お世話になっております。

当院は、3度の飯より釣りが好きな父と、マラソン好きで診療前にジムに通って出勤する息子、親子である2人の医師により日常の診療を行って

います。高血圧や脂質異常症、糖尿病をはじめ、その他にも皆様がよく耳にする一般的な病気の治療をはじめ、胃カメラや超音波検査、胃透視、注腸造影などを行い、病気の早期発見、早期治療に努めています。また、受診することが難しい患者様には随時、在宅診療・往診も行っています。

長い間、地域の皆様とともに歩み、支えられてきたクリニックです。今後とも、すべての皆様にご信頼いただき、ご安心いただける医療を提供してまいります。また、地域に根差し、地域の皆様にやさしく、愛されるクリニックを目指して職員一同頑張っておりますので、これからも、どうぞよろしくお願い申し上げます。



施設名：山本内科胃腸科
住所：東温市北方3205-3
電話：089-966-3014
医師：山本 典二
 山本 卓
診療時間：午前9：00～12：30
 午後2：00～6：00
 土曜日は午前のみ
休診：日曜・祝祭日



『看護の日』とは、近代看護を築いたナイチンゲールの誕生日5月12日を記念して制定された日です。「看護の心をみんなの心に」をメインテーマに、気軽に“看護”に触れていただける行事として、今年も、隻手薬師での健康相談を開催し、血圧、体重、身長、体脂肪、骨密度などの身体測定、健康相談を行いました。

当日は台風の影響であいにくの天候でしたが、雨の中、83名もの方に参加していただきました。「毎年とるよ。」「ありがとう。骨が弱らないように散歩を続けるよ。」など、参加していただいた多くの方から喜びの声をいただきました。また、前日から屋外テントを張って準備していただいた隻手薬師さんのご協力に感謝いたします。ありがとうございました!!

看護の日

隻手薬師で健康相談



また、5月12日を含む週に『看護週間』として、当院の外来・入院患者様に、各職場で企画したイベントを行いました。入浴剤を使用した足浴やメッセージカード、バルーンアートの催しなどで喜んでいただきました。病棟で『看護の日』のイベントを実施することで、普段聞くことができない患者様の声を聞く機会となり、看護の心をあらためて見つめ直す日となりました。「ふれあい看護体験」についても、さらに皆様に関心を持っていただける企画を考えていきたいと思えます。多くの方の参加をお待ちしています。

4階病棟副看護師長 山内 久美子



医心伝心

小児閉塞性睡眠時無呼吸症候群のおはなし

皆さん、子どもにも閉塞性睡眠時無呼吸症候群が存在することをご存知でしょうか。ある調査では、健康な幼児の閉塞性睡眠時無呼吸症候群の有病率は2%程度と報告があります。つまり、100人あたり2人程度の割合で閉塞性睡眠時無呼吸症候群の子どもが存在する計算となります。主な原因は、扁桃肥大とアデノイド肥大ですが、アレルギー性鼻炎も重要な原因となります。

子どもの睡眠呼吸障害は、身体発達を妨げ、いろいろな性格、落ち着きのない行動、学業低下などを認めるといわれており、良い睡眠状態でなければ、子どもの発達を阻害します。健やかな発達を阻害しないためには、早期発見が重要です。

子どもの閉塞性睡眠時無呼吸症候群を疑う症状として最もわかりやすいのは、いびきです。いびきがある場合は要注意です。その他、アレルギー性鼻炎による鼻汁、鼻閉も気をつけなければいけない症状です。このような症状がある場合、寝ている様

各科のドクターがそれぞれの専門分野から、病気・治療・予防等々フリーテーマで一文をしたためます。

子をビデオに撮影するとよいと思います。寝息、いびきの様子、胸の動きなどで閉塞性睡眠時無呼吸症候群を疑います。

睡眠呼吸障害を疑った時には、睡眠時無呼吸検査を行い、その結果で治療を検討します。治療の必要な多くの患者さんでは、耳鼻科での手術を検討しています。アレルギー性鼻炎症状がひどい場合には、薬物治療を行います。大事なものは、発達を促すために治療を行うことです。いびきなど気になる症状がある場合には、ご相談ください。



小児科医長 矢野 喜昭

四季燦餐

～トマトの巻～

今年は、例年に比べ雨が多いと言われていますが、湿度が高く、じめじめするこの時期は、「何となく体調が優れない」といった方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

今回は、そんな時の強～い味方「トマト」についてお話しします。

トマトの故郷は、南米ペルーを中心としたアンデス高原の太平洋側の地域という説が最も有力であり、「トマト」という呼び名は、「膨らむ果実」を意味する「トマトゥル」からきているそうです。はるか昔、メキシコ湾をのぞむベラクルス地方のアステカ人がこう呼んだのが始まりともいわれています。トマトゥルとは、元来「ホオズキ」を指し、メキシコではホオズキを煮込んで料理に使っていたところから、形がよく似たトマトも同じ名前と呼ばれていたそうです。

最初は観賞用として、17世紀半ばに日本に伝わった、明治以降食用として導入されるようになったといわれています。

昔から「トマトが赤くなると医者が青くなる」といわれているほど、健康によい野菜として知られてはいますが、最近では赤い色素の「リコピン」には、老化の原因となる活性酸素を退治するはたらきがあると注目されています。

これからの季節、冷たくしたトマトも美味ですが、リコピンは比較的熱に強い性質を持っており、加工品や油を使った料理でも吸収性は高まるといわれています。

トマトを上手くメニューに取り入れ、暑い夏を元気に乗り切りましょう。

(※治療中の方は、主治医に確認されることをおすすめします。)



医療安全管理室 だより

こんなことしています

医療安全の推進に資するため、全職種の代表メンバー36名で構成される医療安全部会を設置、毎月部会活動を行っています。特に医療事故につながりやすい「患者誤認防止」「安全な与薬業務の推進」「転倒・転落事故防止」「重症心身障害児・者の骨折予防」に関して、4グループに分かれて取り組んでいます。

『全ての医療は患者が本人であることの確認から始まる』と言われるように、患者確認は全職場で最も重要なことです。『お名前をお願いします』とフルネームでの名前確認、指差し呼称の周知徹底、ダブルチェックなどを行っています。医師の指示した薬剤が、安全に確実に患者様へ投与されるよう、業務手順の作成、見直し、評価、多職種間の連携を図っています。転倒転落事故防止チームでは、入院中の安全な環境調整と危険因子の早期発見により個別性のある予防策を実施し事故防止に努めています。重症心身障害児・者病棟では、高

医療安全部会

チーム別研究の取り組み

腰に手を添えて…



重症心身障害児・者の骨折予防チーム
理学療法士による実技講習

齢化、骨粗鬆症、骨の脆弱化、変形拘縮等により骨折のリスクが年々高くなっています。そこで、専門職としての知識、技術の習得と共に、個別性のある看護援助が実践できるよう医師・理学療法士の協力も得ながら取り組みを行っています。

初心者マークはずします ピンクストラップ卒業式

1年目の終わる3月に、私たちは新人を表すピンクストラップを卒業し、先輩看護師と同じ赤ストラップを各病棟の師長から頂きました。師長からのメッセージ付きの修了証書とストラップを渡されたときは、1年間の成長を感じることができ、本当に嬉しかったです。



感極まって涙ぐむ卒業生

1年目を振り返り、入职したての頃は失敗の連続で、自分の未熟さに落ち込んだこともありました。看護師になり、初めて患者さんに針を刺す時の緊張感や、初めて患者さんの死に直面した時の悲しみ、初めて患者さんから「ありがとう」と言われた時の喜びなど、患者さんから命の尊さや看護のやりがいを教わりました。

失敗したこと、嬉しかったこと、その様々な経験を研修で同期と話をすることで、各病棟特有の大変さがあることを知り、自分も更に頑張ろうと思うことができました。また、上手くいかないこと、わからないことは、先輩看護師に相談することでアドバイスを通して、私たちが成長できるようサポートして頂きました。さまざまな人の支えがあって、今の自分があるんだと感じ、感謝の気持ちでいっぱいです。

先輩方と同じ赤ストラップになって2か月が経ちましたが、私たちはまだまだ一人前の看護師とは言えません。ですが、これまで経験してきたことや、それぞれがまとめた看護観を忘れず、一日でも早く自立した看護師となれるよう頑張りますので、これからもよろしくお願いします。

4階病棟 楠由華

音楽隊が 街にやって来る

WHEN THE POLICE BAND GO MARCHING IN

サマーフェスティバル '15. 6. 3

恒例の重症心身障害病棟合同行事「サマーフェスティバル2015」が、6月3日(水)、第二療育訓練棟を会場に、盛大に開催されました。あいにく雨天となり、予定していた病棟中庭での開催はできませんでしたが、4組のボランティアさんに来院していただき、年に一度の合同行事を盛り上げていただきました。



くじ引きの景品にご満悦の患者様

イベントは14時過ぎから開始しました。メイン会場の第二療育訓練棟では、「いのとん（東温市イメージキャラクター）」と「おいで屋ちんどん一座（アクティブボランティア21）」の方々が来場され、くじ引きやデザートを楽しんでいる利用者さんの所へ行き、記念撮影やパフォーマンス等で会場を盛り上げていただきました。

15時からの開会式では、まず岩田院長が挨拶をしました。

続いて、松山南警察署交通課課長さんによる「交通安全教室」では、愛媛県内の交通事故の状況や交通事故への対策等についてお話をいただきました。そして次は、今回のメインプログラムである「愛媛県警察音楽隊によるコンサート」です。「雷鳴と稲妻」「童謡メドレー」「加山雄三メドレー」「白鳥



いのとんと握手

の湖」など、クラシック曲や懐メロを中心とした演奏を聴かせていただきました。その美しい音色と生演奏の迫力に、会場の参加者はみなさん魅了され、また圧倒されたひとときでした。アンコールでは、坂本九さんの「明日があるさ」の曲にあわせて、会場全体で手拍子をし、再アンコールでは、「愛媛の歌」を特別に演奏していただきました。普段、生の吹奏楽を聴く機会が減多にない利用者の方々のみなさんにとっては、貴重な体験になったのではないかと思います。



また、当日会場へ行けなかった利用者の方々のために、「いのとん」と「おいで屋ちんどん一座」の方々のみなさんには、各病棟を訪問していただきました。利用者さんやご家族からは、「会場に行けなかったけど、楽しかった」との感想があり、初夏の行事を楽しむ事ができました。

4組のボランティアの皆さん、また運営に協力していただいた皆さん、本当にありがとうございました。

療育指導室主任保育士 大塚 克洋



おいで屋ちんどん一座のみなさん

平成28年度 入試案内

愛媛医療センター附属看護学校



	推薦入学試験	社会人入学試験	一般入学試験
募集人数	1校につき 3名まで	5名程度	20名程度
出願期間	平成27年 10月13日(火)~ 10月26日(月)	平成27年 10月13日(火)~ 10月26日(月)	平成27年 12月 9日(火)~ 12月24日(木)
試験日時	平成27年 11月11日(水)	平成27年 11月11日(水)	平成28年 2月4日(木)
試験科目	数学Ⅰ 英語Ⅰ・Ⅱ 小論文	英語Ⅰ・Ⅱ 小論文	数学Ⅰ 英語Ⅰ・Ⅱ 国語総合 (古文・漢文除く)・ 現代文
合格発表	平成27年 11月26日(木)	平成27年 11月26日(木)	平成28年 2月4日(木)



いっぺん、おいでんか? オープンスクールのご案内

日 時	第1回 平成27年7月18日(土) 10:00~15:30 第2回 平成27年7月26日(日) 10:00~15:30
対 象	愛媛県下の高校生・社会人
定 員	各回 60名
内 容	学校の概要説明 公開講座「喀痰吸引」・在校生との交流会 看護体験(喀痰吸引:手浴・マッサージ:新生児の沐浴:妊婦体験) 病棟見学(希望者のみ)
備 考	当日は、上履き(体育館シューズ等)・昼食をご持参ください 保護者の方の見学も可能です
申し込み方法	高校生:進路担当の先生を通じてファックス(089-964-4939)でお申し込み ください 社会人:往復はがきに希望日・氏名(ふりがな)・性別・住所・電話番号を記入 してお申し込みください
締め切り	第1回 7月10日(金)必着 第2回 7月17日(金)必着 ※電話での申し込みは受け付けておりません
問い合わせ先	〒791-0281 東温市見奈良1545-1 独立行政法人国立病院機構 愛媛医療センター附属看護学校 電話:089-964-1830 ※平日の9:00~16:00でお願いします



4月9日、私達14期生42名は、これから始まる3年間の看護学生生活に期待と不安を抱きながら愛媛医療センター附属看護学校に入学しました。入学直後は教室の場所やこれからどのような勉強が始まるのかイメージもつかず、落ち着かない日々が続きました。とても変化の大きい1ヶ月でした。少しずつではありますが、愛媛医療センター附属看護学校での生活にも慣れてきました。授業で初めて聞く動脈や骨の名前、

健康診断の時に先輩方にバイタル測定をして頂いたこと、先生方に採血して頂いたこと、些細なことも含め、初めて学んだり、経験したりすることがとても新鮮でこれから看護師を目指す一歩を踏み出したのだと実感させてくれるものばかりでした。

新しい刺激を受けながら私達14期生は看護師になるために毎日少しずつ成長しているように感じています。しかし、まだまだ知識も未熟ですので、これからの3年間、先生方や先輩方、実習先でお世話になる方々の指導を真摯に受け止めながら大きく成長していきたいと考えます。そして3年後、クラス全員で社会に貢献できる看護師としての第一歩を歩き出せるようになろうと思いを深めています。これからはますます勉強も専門的になってきて、大変な事もあると思いますが、14期生42名で切磋琢磨し合いながら知識、技術を身につけ、心を磨いていきたいと思ひます。

第十四回 入学式



初めて謳う校歌

第14期生 梶原 魅悠

ちよつと言ひ放し

愛媛医療センターニュース編集委員の持ち回りでお届けします。

東温市に住み始めて5年目になりました。私は愛媛県の対岸にある山口県の出身にも関わらず、恥ずかしながら、初めは愛媛県の場所すら自信をもって答えられませんでした。そんな他県からきた私が見た、愛媛県についてご紹介したいと思ひます。

まず方言についてです。意外にも山口の方言に似ているので、懐かしい気持ちになりすぐに馴染みました。しかしその中で気になったのが「かまん？」という言葉です。初めて聞いたときには引越し業者の方の口癖かと思ひていましたが、スーパーでも職場でも耳にするようになり、「これは方言だ！」と気がつきました。相手を気遣うような柔らかい尋ね方が気に入っていますが、まだまだ使いこなすには至っていません。

また、なんと言つても温泉が多いことに感激です。元々温泉は、旅先で入るものだと思ひ込んでいました。しかし愛媛のみならず、日常的に温泉に入っていて、温泉が多いということにも気がついていないような印象です。せっかくなので温泉を満喫しようと、中予だけでなく南予東予の温泉にも出掛け、楽しんでいきます。

そして、愛媛と言えはみかんです。「愛媛に住むことになった」と言つと誰もが口をそろえて「みかんよろしく」と言ひます。とはいへ、山口も日本で唯一夏みかん色のガードレールがあるなど、みかんのことなら負けないと思ひていました。しかし実際に住み始めて気がついたのは、その種類と量の多さです。産直市に行くところも広いみかんコーナーがあり、季節が変わつても何かしらのみかんがあることに驚いています。

愛媛県に来て5年、少しは愛媛県民らしくなつてきたかなと思ひています。しかしふと振り返ると、故郷山口のことはわざわざ調べることもなく、実は知らないことだらけです。これからは故郷について調べてみるのもいいなと思ひ始めています。

ちびまる子



外来診療担当医表

内科外来直通電話 089-990-1834 FAX 089-990-1858
 外科外来直通電話 089-990-1835 FAX 089-990-1859

診療科	月	火	水	木	金	
循環器内科	船田泉	藤田泉	岩田田	岩田	船田	
消化器内科	古田	山内(一)	久保岡	山内(一) 糖尿病専門 大藏	久保	
呼吸器内科	阿部	渡邊東	佐藤	阿部 大久保	伊東村 中	
神経内科	小原	岡田		小原	戸井	
外科	石丸					
消化器外科		鈴木	森本			
呼吸器外科					湯汲	
整形外科 午前のみ診療	横手 宮本	曾我部	横手 曾我部	宮本	宮本(第2・4) 曾我部(第1・3・5)	
専門外来 (予約制)	心臓リハビリ	船田	泉	藤田	船田	
	ペースメーカー外来				第2・4(午後)	
	糖尿病外来					古川(第2・4)
	フットケア外来				毎週	
	スキンケア外来		第1・3(午前)			
	ペインクリニック			山内(康)(午前)		
	じん肺外来					西村(第1・3)(午前)
	アスベスト外来		午後		午後	
	息切れ外来	渡邊(13時30分~)				
	SAS外来					渡邊(午後)
	神経難病			橋本		
	小児(神経外来)	矢野		濱田		矢野
	頭痛外来				永井(第2・4)	

※外来受付は8時30分から12時までです。内科は13時から16時までです。
 ただし、土・日・祝祭日・年末年始(12月29日~1月3日)は休診です。
 ※SAS(睡眠時無呼吸症候群)

2015年7月1日現在

独立行政法人国立病院機構 愛媛医療センター

〒791-0281 愛媛県東温市横河原366 TEL 089-964-2411 FAX 089-964-0251
 ホームページアドレス <http://www.ehime-nh.go.jp>

当院の位置と交通



高速道路川内ICまでの所要時間

- 三島川之江IC(70km) 50分
- 高松西IC(130.9km) 1時間30分
- 徳島IC(170.9km) 1時間50分
- 高知IC(130.1km) 1時間30分
(川内ICから当センターまで車で5分)

交通機関

- 電車 伊予鉄高浜横河原線横河原駅下車徒歩7分
 または、愛大医学部南口駅下車徒歩3分
- バス 伊予鉄松山市駅川内方面行横河原下車徒歩10分
 松山市から30分 伊予市から40分 西条市から60分
 無料駐車場完備

※弊誌の基本方針として、掲載写真については原則ご本人様の了解を頂いております。

※弊誌へのご意見ご要望ご感想は、当センター内病院新聞編集委員会(担当:小倉)までお寄せください。